

2025-2026年度

国際ロータリー第2820地区

社会奉仕委員会

地区研修・協議会（DTA）資料

社会奉仕総括委員長 黒木 雅宏（水戸西RC）

地区委員会の役割（社会奉仕委員会）

- クラブに成功事例やリソース、地元団体、地区委員会、奉仕関連の他のロータリーグループを紹介することで、クラブによる社会奉仕を援助し、クラブがロータリー地域社会共同体をスポンサーして地元市民との関係を築けるよう支援する。

地元団体、地区委員会、奉仕に取り組む他のロータリーグループをクラブに紹介することで、クラブによる社会奉仕を援助する。

- 各自の才能や職業スキルを生かして奉仕プロジェクトを計画、実施するようクラブ会員に奨励することで、職業奉仕を推進する。
- 社会奉仕活動を実施し、成功例を紹介するようクラブに奨励する。

MY ROTARYより抜粋

「情報＆リソース」⇒「リソース＆参考資料」⇒「地区委員会」⇒「社会奉仕」

ラーニング形式の研究会の開催

- ラーニング形式とは？ Rotary Leadership Institute（R L I）

今までの「基調講演⇒事例発表」という、講演会方式から脱却し、研究会にご参加いただく皆さんの意見を取り纏めます。そして、それに基づき全員で協議・検討を行い、当地区での最適な方向性を一緒に導き出していきます。

「答えありき」ではない、役立つ・実践的な研究会を実施いたします。

- ロータリクラブ以外も含めた幅広い各種団体を巻き込み、ロータリー地域社会共同体として地域、特に今後の地域を背負って立つ若者に役立つロータリー活動の支援となる研究会を実施します。

クラブに成功事例を紹介

- 主に地区補助金活用事業の中から、現在の社会的なニーズに合致した事業を抽出し、実施クラブから事例発表を行っていただく。発表の場として、ラーニングセミナー・研究会を実施する。
- 同じ2820地区の中でも、分区ごとに社会奉仕事業の特色があり、A分区では当たり前に行われている事業が、B分区では全く該当事業がない場合も多い。
- 新しい事業を発掘する。
各地区の新しい事業を紹介してもらう。
- ロータリークラブが中心となって、【地域社会共同体】を組織するような事業の構築を全力でバックアップする。

新たな社会奉仕事業の創出支援

- 地元高校と地域をつなぐコーディネーター

都心へ流出する傾向にある若者と、次代の担い手が不足する企業との橋渡し。

- キャリアコーディネーター

学校と連携し、自クラブの会員企業や職業・業務内容について、就職を希望する学生に説明会等を実施する。

- ロータリーインターンシップ

学校の進路指導の一環として、会員企業へのインターンシップを斡旋する。

また、市内企業の見学バスツアー等の企画で地元の魅力ある企業の紹介を行う。

ご清聴ありがとうございました。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。